

萬歳楽

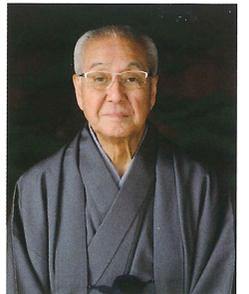


御挨拶

特定非営利活動法人 ACT・JT

理事長

野村 萬



桜花爛漫の候、皆様方には益々御清祥の事とお慶び申し上げます。平素より、当法人の事業に格別の御支援を賜り、御芳情誠に有難く厚く御礼を申し上げます。

まず当法人の令和五年度の活動につきましての御報告は、四月にアーティストをはじめとするさまざまな創造活動の担い手の創造環境向上に資する事業としてアーツカウンシル東京に御採択を戴いた「伝統ライブ桜楽」琵琶・箏・尺八・三味線」を紀尾井小ホールにおいて開催致しました。実演家を取り巻く状況を共に再確認をしい、お互いに課題解決に向かう第一歩となりました。また日英二か国語での解説や体験も行い、大いなる喝采を戴きました。

夏には四年ぶりに「六本木楽」が再開され多くの方々の御来場を得て大盛会となりました。恒例の伊東大田楽は「東アジア文化都市2023静岡県」の一環として「東アジアの鼓動」と銘打ち開催をし、日本、中国、韓国の芸能のワークショップと公演を行いました。

秋には国民文化祭が石川県で開催され、「いしかわ百万石文化祭」の開会式において、天皇后陛下御来臨の元、山代大田楽が県の芸能の一つとして御披露する名誉をいただきました。

十二月には「第三回楽市楽座」を開催、年が明けて文化庁 文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン)) 独立行政法人日本芸術文化振興会「JAPAN LIVE YELL project」沼津市政100周年記念事業「ぬまづ大田楽×よさこい東海道」を株式会社SBSプロモーションと公益社団法人日本芸能実演家団体協議会主催により開催致しました。

二月には「立合狂言会十周年記念」狂言五番立て×2 十番勝負」を盛大に開催致しました。狂言の二流派合わせて十組の若手・中堅の狂言師、総勢四十名が出演、趣向を凝らした演目を御覧いただきました。

ACT・JTは本年度設立二十年となりました。皆様方の一方ならぬお力添えにより、お陰をもちまして多様な活動を滞りなく展開出来ました事をここに重ねて謝意を表しますと共に、今後変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。